

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

		チェック項目	はい	いい	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		通常の活動スペースと、学習スペースを分けて配置しているとともに、精神的不安定時には安定していただけるスペースとして使用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		その日の予定人数や個々の状態に合わせ、職員数については、適切に配置を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリーはもとより、伝達必要事項等についても、出来る限り目立つ位置の配置を心掛けている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動スペースと静養や食事スペースを分けており、清潔が常に保てるよう配慮を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別に活動等できるスペースを通常のスペースとは別に確保し、精神的に安定した活動ができるよう配慮している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員会議時等において、現状に対する状況確認や評価も含め、常に職員統一認識の元行われている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		今回の評価表の内容を職員一同確認するとともに、業務改善必要時には改善に繋げている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議時やミーティング時等において、意見聴取を行い、必要な場合は業務改善に繋げている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現時点では第三者をしていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		各職種別の研修並びに経験年数等に応じた研修が法人独自で行われている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		毎月のプログラム作成には、常に行われており、家族に対しての公表も行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		契約時の聞き取りも含めて、アセスメント内容の把握を行い、モニタリング時においても現状の状況把握も含め、計画作成に努めている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ご利用者個々の状況等について、ミーティング時や職員会議時において、共通理解のもとで支援は行われている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		自発管が中心となり、計画については職員周知が確実になされており、計画に沿った支援は常に行われている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		常に標準化されたアセスメントツールを使用し、職員共通認識のもと確認している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		常にガイドラインに沿った計画作成を心掛けているとともに、必要項目の設定、並びに具体的な支援内容が設定されている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		児童個々の状態に合わせたプログラムが行われるよう、ミーティング時等利用して、それぞれに意見を出し合い、作成を心掛けている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員間にてミーティング時や職員会議時に打ち合わせを行い、プログラムが固定化せず、個々の状態に合わせたプログラムの作成に努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個々の計画に沿い、更には個々の状態に合わせた個別活動や集団活動を合わせて取り組めるよう配慮させていただいている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前の職員ミーティングの実施により、その日の活動に合わせた内容の確認や役割分担等の確認を職員連携しながら行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後は、ご利用者個々のケース記録の記入やその都度の状態を確認しながら、職員ミーティング時に振り返りは行われている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日「業務日誌」「個別ケース記録」「その他特記事項等」を記録するとともに、内容検証により業務の改善に努めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		自発管が中心となり、家族聞き取りも含めたモニタリングを定期的に行っている。また、合わせて各職員の確認のもと、見直しの必要性があるかどうかの判断もなされている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		ガイドラインの内容について、職員共通認識のもとに行われた支援を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	4	1	通常の活動時も含め、レク外出時においても児童の意見をしっかりと聞くことで、自己決定に導くことが出来るよう配慮している。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		基本的には、自発管が参加することとしているが、都合に応じて児童指導員の参加もなされており、常に状況把握ができていない職員への参加を心掛けている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		同法人内保育施設、障がい事業関連施設とは連携できる体制があります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		児童の担任との連携のもと、年間計画や下校時刻表等の情報提供は常になされており、連絡調整についても確実に行われている状況にある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	同法人内の保育園、児童発達支援事業所とは連携が図れる体制があります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	現時点では、卒業する児童が在籍していない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		特に必要時においては、内容等について相談実施しているとともに、できるだけ研修への参加は行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	同法人が運営している他児童事業所との交流については、年間計画のもとに行われている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		特に自立協が開催している研修会については、積極的に参加しており、他事業所との関わりについてもできてきている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や面談時において出来る限りこちらでの状況をお話しさせていただくとともに、家庭での状況についての聞き取りも行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	現時点では、行われていないので、開催を検討していく必要があります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		年間を通じて、計画内容についての説明時や面談時において、こちらから説明はさせていただいている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		特に送迎時や個別支援計画説明時において、できる限り確認できる機会を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		基本的に自発管による説明を行った上で、同意いただき支援開始をさせていただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的な面談の実施や必要時の面談も含め、その都度の対応はさせていただいている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	現時点では、行われていないので、開催を検討していく必要があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応に係る体制については、フローチャートも含め整備されているとともに、契約時等も含めてご家族への説明は行われている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3	定期的な発行誌の配布、HPなどの掲載が出来なかった。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に「個人情報保護に関する同意書」の説明並びに同意をいただいているとともに、常に個人情報に関しては、職員共通認識のもと、十分な注意を払っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		送迎時や面談時等も含め、常に配慮できるよう職員共通理解のもと行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	現時点では、行われていないので、開催を検討していく必要があります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアル策定についてはしっかりと行われており、訓練実施についても確実に行われている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		非常災害発生も含めた避難訓練においては、年間計画の中で計画され、確実に行われている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		日頃の保護者との連絡やおたより帳等により、状態把握は行われている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		主治医の指示が必要な児童に関しては、保護者からの連絡により、対応させていただいている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		特に不審者対応という点に関しては、年間計画のもと計画的な訓練はなされている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		常に児童の安全が確保されるよう、随時保護者との連絡を密にとるよう心掛けている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット記入必要時においては、内容確認を行うとともに、再発防止並びに事故防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に関しては、定期的な職員研修により、職員共通理解の上、対応を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束防止に関しては、定期的な職員研修により、職員周知を図っていると同時に、家族に対しても、契約時等十分な説明は行われている。